

**新春市民交歓会を開催
復興に向け新年の誓い新たに**

1月4日、鹿島ガーデンヴィラ（北中川原）で「新春市民交歓会」が開催され、約420人が参加しました。鈴木市長、和知商工会議所会頭、高橋ひがし商工会会長のあいさつに続き、来賓祝辞、叙勲等受章者の紹介、白河謡曲会三宝会の祝謡、鏡開きを行った後、高橋市議会議長の発声で乾杯し、新年を祝いました。会の結びには、ダルライザーとダイスが登場し、参加者全員で力強く「がんばろう」コールを行い、復興への誓いを新たにしました。



▲ダルライザーとともに復興を誓いました

**ビジネスアイデアコンテストの受賞者を表彰
地域の資源を活用したアイデアが光る**

1月13日、市役所で「ビジネスアイデアコンテスト2011」の表彰式が行われ、受賞者に表彰状と賞金が授与されました。コンテストは、地元起業家の発掘と産業の活性化を目的に昨年度から実施しています。今年は36件の応募の中から、プラン部門の最優秀賞に高橋正訓さんの「晴れ着T（シャツ）」、優秀賞に片野儀一郎さんの「だるま餅」が、アイデア部門の最優秀賞に吉田智恵美さんの「だるまめし」、優秀賞に塩田陽介さんの「白河ラーメンマン」が選ばれました。



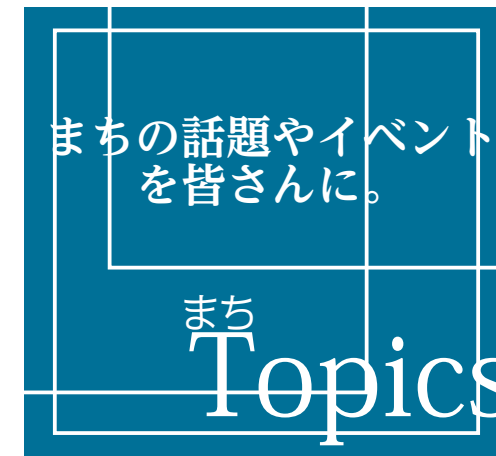
▲受賞を喜ぶ皆さん

**第17回中山義秀文学賞贈呈式・受賞記念講演会
作家の澤田さんが受賞作の時代背景を語る**

1月21日、市立図書館（道場小路）で、「第17回中山義秀文学賞贈呈式・受賞記念講演会」が行われ、受賞作「孤鷹の天」の作者、澤田瞳子さんに正賞と副賞が手渡されました。贈呈式後の記念講演会では、澤田さんが「奈良・平城京を考える」をテーマに、作品の時代背景である奈良時代について、受賞作に登場する場面を織り交ぜながら話し、参加者たちは興味深く耳を傾けていました。



▲講演を行う澤田さん



**白河地域再生可能エネルギー推進協議会が発足
復興と産業の活性化に向けて**

1月11日、鹿島ガーデンヴィラ（北中川原）で「白河地域再生可能エネルギー推進協議会」の設立総会が開催され、市と白河地域の20の企業・団体が参加しました。この協議会は、再生可能エネルギーの関連産業を集積し、地域産業の活性化を図る目的で設立されたものです。総会後には、エネルギー戦略研究所(株)の山家公男所長による「地域エネルギー資源を活用した産業創出～原発事故からの白河再生～」と題した記念講演が行われ、約100人の来場者は熱心に聞き入っていました。今後、市は、同協議会や関係機関と連携協力しながら、再生可能エネルギーの関連事業に取り組んでいきます。



▲設立総会の様子

**平成24年白河市消防団出初め式が挙行
防火・防災の決意を新たに堂々のパレード**

1月8日、市民会館（手代町）で消防団出初め式が行われ、約790人の消防団員が参加しました。式では、統監である鈴木市長の訓示に続き、邊見友雄消防団長からあいさつがあり、団員たちは、新年を迎えての防火・防災の決意を新たにしていました。また、式に先立ち、火災予防の啓発を兼ね、本町から市民会館までの約1kmの区間を消防団員がパレードし、地域防災の要として、頼もしい姿を披露しました。



▲力強いパレードの様子